

債務負担行為（県立高専施設整備費補助（建設工事））補正について

1 債務負担行為の内容

県立高専校舎等施設の整備に係る施工費 144.2 億円のうち、公立大学法人滋賀県立大学が申請・獲得した外部資金 7.5 億円を除く 136.7 億円について、同法人に対して補助を行うもの。

現在、同法人において実施設計を行っており、同法人において入札・発注準備を進めていく計画。

（内訳）

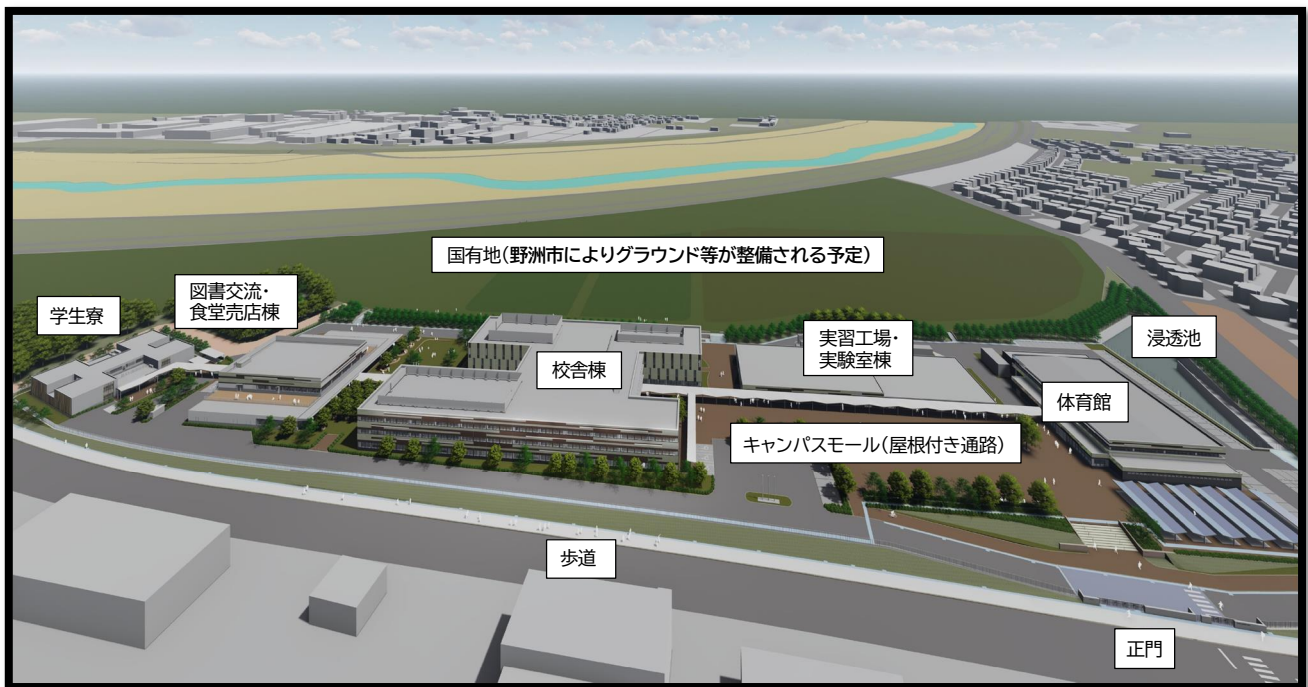
（単位：千円）

		限度額	財源内訳	
			地方債 （地域活性化事業債）	一般財源
支払年度	令和8年度	3,306,000	2,975,400	330,600
	令和9年度	10,366,000	9,329,400	1,036,600
合計		13,672,000	12,304,800	1,367,200

※ 地域活性化事業債：充当率 90%、交付税措置率 30%

2 施設整備概要

- 立地場所（「通える高専」を標榜）
野洲市市三宅地先 ※JR野洲駅から直線距離約 1.3 km 北西に位置（徒歩約 17 分）
- 整備に係るコンセプト
 - ・地域に溶け込み、地域から誇りと愛着を持たれるキャンパス
 - ・現代的・実質的・コンパクト
- 配置計画・全景イメージ



※3工区に分けて発注することを計画

①校舎棟 ②図書交流・食堂売店棟および学生寮 ③実習工場・実験室棟および体育館

（4）各施設の構造および規模

	施設	構造	階数	延床面積
1	校舎棟	鉄骨造	3階	約10,900㎡
2	図書交流・食堂売店棟	鉄骨造	2階	約2,400㎡
3	学生寮	鉄筋 コンクリート造	2階	約1,400㎡
4	実習工場・実験室棟	鉄骨造	1階 (一部2階)	約2,200㎡
5	体育館	鉄骨造	1階	約1,600㎡

(5) 設計上の主なポイント

① 立地を生かした学校施設

- ・「近江富士」として親しまれる三上山、周辺森林、野洲川を望む環境において、校舎棟の教室や図書交流・食堂売店棟のテラスから、三上山や野洲川を眺望

② 学習環境

- ・校舎棟中央に、学生や教員が集い、語らい、共創を育む場である象徴的な場所として、吹抜けの大空間である「交流スペース」を設置
- ・実践的学習を行うため、4つの専門コースそれぞれにグループワークが可能な「コモンスペース」を配置するほか、少人数教育や課外活動なども可能な「多目的室」を複数配置
- ・学生が休憩時間や放課後に自由に集まり、ディスカッションを行ったり、食事がとれるフリースペースや、静かに学習できる自習スペースを配置

③ 地域から誇りと愛着を持たれるキャンパス

- ・図書交流施設は、魅力的な施設となるよう、眺望のよいテラスや緑の広場を配し、学びや実践の場として学生や教員と企業や地域が共同研究や発表などを行う拠点として利用

④ 環境への配慮

- ・校舎棟、図書交流・食堂売店棟、体育館：ZEB Ready 達成見込み
学生寮：ZEH-M Oriented を目指す
- ・校地内の各所で樹木や芝張り等の植栽を行い、敷地内緑化を推進
- ・雨水利用、太陽光発電設備を導入

⑤ 木のぬくもりのあるしつらえ

- ・学生や教員、施設利用者にとって、魅力的な学びや活動の場となるよう、校舎棟の「交流スペース」や、図書交流・食堂売店棟の「ラーニングコモンズ」、「図書館」などに、効果的に県産木材を使用

⑥ その他

- ・各施設を「キャンパスモール」（屋根付き通路）でつなぎ、雨天でも濡れることなくコンパクトに移動が可能
- ・夏場における授業や実験・実習、課外活動等のため、体育館や実習工場・実験室棟にもエアコンを設置
(体育館は、災害発生時の避難所利用も想定し、電源独立型のガス空調を設置)

(6) 今後のスケジュール

時 期	校舎棟	校舎棟以外
令和7年11月	・実施設計完了	
令和8年1月		・実施設計完了
令和8年2月	・県議会2月定例会議に、令和8年度当初予算案として所要額を提案 ・入札公告	
令和8年4月 ～5月	・開札、契約締結 ・工事開始（～令和10年1月）	・入札公告
令和8年7月		・開札、契約締結
令和8年8月		・工事開始（～令和10年1月）

(以 上)